

「スマートフレッシュくん蒸剤」の りんご極早生・早生品種 に対する 日持ち性向上効果

りんご研究所

りんごの極早生・早生品種は、収穫後の品質が劣化しやすいため、徹底した管理が必要です。
そこで、鮮度保持剤のスマートフレッシュくん蒸剤(有効成分:1-メチルシクロプロペン(1-MCP))を利用した場合の日持ち性向上効果を検討しました。

その結果、安定して高い効果が期待できる品種とこれらに対する処理適期が明らかとなったので紹介します。

高い効果が期待できる極早生・早生品種

あおり16(恋空)



硬度の低下を抑制

1-MCP 処理適期

収穫翌日まで

未来ライフ



◆ 硬度の低下を抑制
◆ 油あがりの発生を抑制

1-MCP 処理適期

収穫翌日まで

さんさ



硬度の低下を抑制

1-MCP 処理適期

収穫3日後まで

つがる



◆ 硬度の低下を抑制
◆ 油あがりの発生を抑制

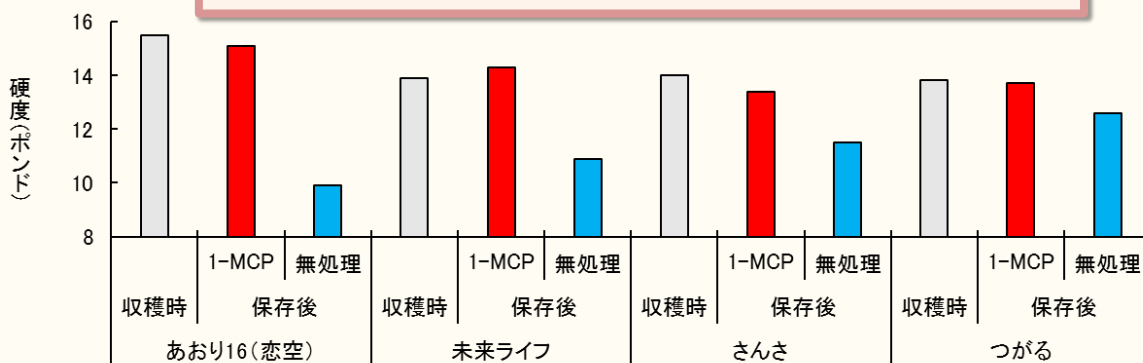
1-MCP 処理適期

収穫3日後まで

スマートフレッシュ
くん蒸剤
(1-MCP)の
日持ち性
向上効果※

※収穫後20℃で
7~10日間の
日持ちを想定

本剤で処理した果実は、収穫後に20℃で7日間保存した後も
果肉の硬度が収穫時並に維持された。



利用上の注意事項



- ◆ 「つがる」に発生する茶星(茶色の斑点)は、本剤で処理しても抑制できません。
- ◆ 本剤で処理した果実は香気成分の生成が抑制されるため、風味が少なく感じることがあります。

お問い合わせ

りんご研究所 栽培部 (TEL0172-52-2331)